

2012年1月 小室様（株式会社イーウェル）

在宅医療については大石さんよりお聞きしておりましたが、聞くと見るのでは、まったく感じ方が異なり、自分にとってとても良い機会となりました。

まず、一般人（このような状況の家族がない場合）に、どのように医療、介護等のサポートが実施されているかを見る知る機会が無く、正直、関係されている様々なサービスのホスピタリティの高さに驚き、感心させられました（すごいな！と）。これは、一個人として。また、これだけのサービスを提供するための社会保障費は途方も無くかかることになる事も、いまさらながら実感です。

イーウェルにて検討させていただく観点からは、

- ・医療と介護、その他の方との情報連携の重要性
- ・医療、介護に従事されている方の、付随業務の効率化の必要性
- ・サービスを受けられる方の自己管理サポートの仕組み（薬の飲み方、リハの取り組み、コミュニケーション等）
- ・在宅医療のナレッジの共有する仕組み
- ・24時間、365日コールセンター機能構築のためのFAQシステムの必要性（OP教育も）・・・

ICTの進化は、非常に追い風になるかも知れないとも思いました。

（アメリカの液晶テレビにはカメラがついている機種がとても多いそうです。）

また、在宅医療自体が、もっと一般に認知されることも、サービスの進化の為には大変重要なこととも思いました。